

環境統合情報システム

内藤知子* 中村 馨**
 酒井雅朗* 小林正幸***
 竹内 充** 上田敏晴*

要 旨

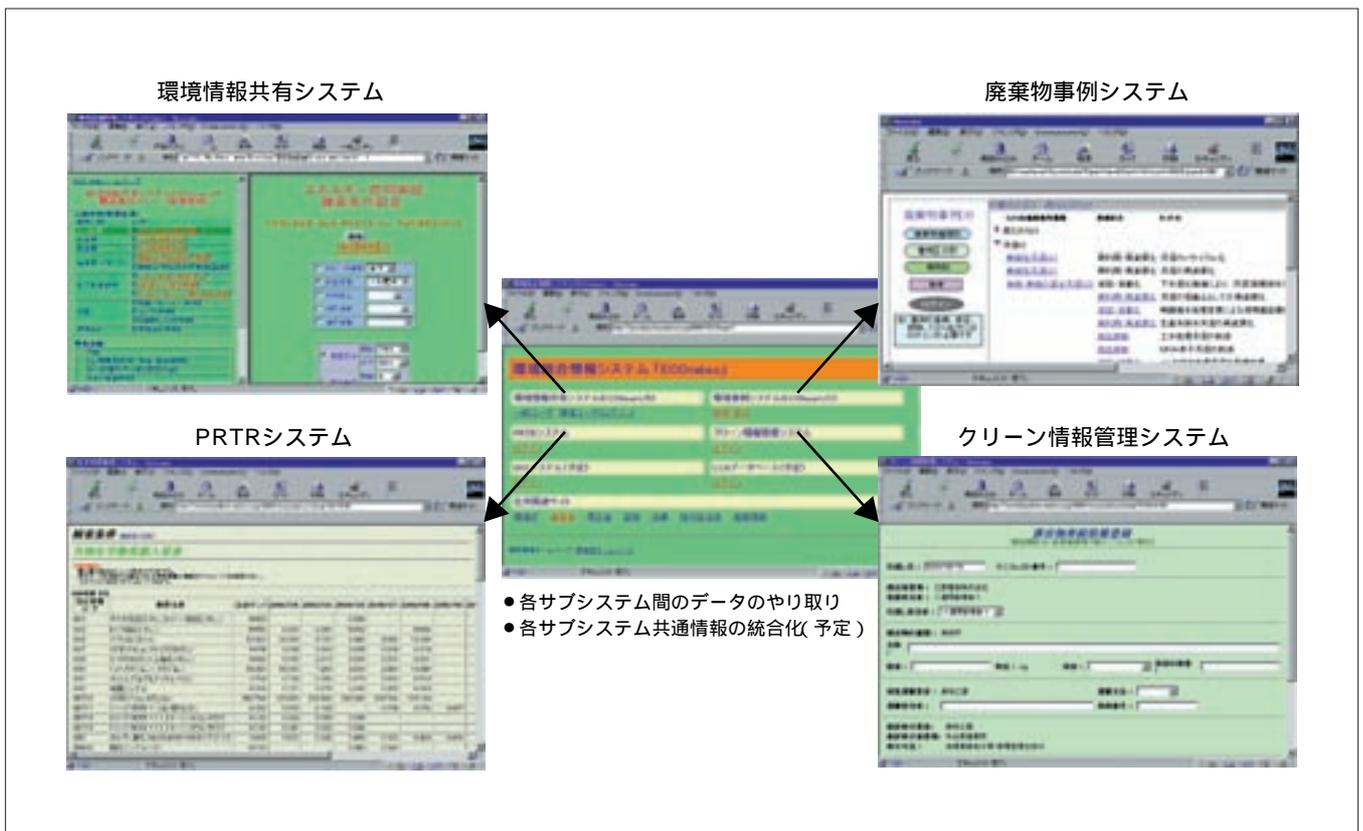
最近の環境問題の社会的・地球規模的広がりから、環境保護のための法規制がますます強化されると同時に、企業での環境への取組状況の情報開示要請が強まっている。これに伴い、三菱電機グループの各事業所では、環境負荷低減と環境管理の業務が増加しており、一方では環境関連情報のきめ細かい日常管理も不可欠になってきている。

三菱電機では、これらの環境管理業務を効率化し法規制強化と情報開示拡大に迅速に対応できる環境情報管理基盤を確立するため、1999年に環境統合情報システム“ECO rates”開発推進プロジェクトを発足させ、グループ内で環境情報を統合管理するシステムを開発構築している。現在、部分的運用も開始しながら全体システムを構築途中であるが、本稿では、ECO ratesの現状と今後の計画を紹介する。

ECO ratesは、様々な環境情報を取り扱う複数のサブシステムで構成される。現在は、環境に影響を及ぼす化学物質情報を管理する“PRTRシステム”，廃棄物情報を管理する“クリーン情報管理システム”，環境改善事例情報を提供する“ECOheart / C”，これらサブシステムの環境情報とその他エネルギー情報等を統合管理する環境情報共有システム“ECOheart / R”で構成されている。その中で、本稿では、現在社内試行中のECOheart / R，社内導入中のクリーン情報管理システムについて詳細を説明する。

今後、これらのサブシステムの社内への全面導入とグループ関係会社への展開を進めるが、併せて、PRTR / MSDS法施行に伴う事業所内化学物質管理強化のためのPRTRシステム増強等も計画している。

ECO rates : ECO-oriented Corporate Management System , ECOheart / C : ECO-oriented Hyper Electronic Data Sharing System for Case Data , ECOheart / R : ECO-oriented Hyper Electronic Data Sharing System for Reference Data , PRTR : Pollutant Release and Transfer Register , MSDS : Material Safety Data Sheet



ECO ratesの画面表示例

ECO ratesメイン画面(中央)に示されたメニュー(サブシステムの名称)を選択すれば、各サブシステムを利用することができる。左上は“ECOheart / R”，左下は“PRTRシステム”，右上は“ECOheart / C(廃棄物事例システム)”，右下は“クリーン情報管理システム”の画面表示例を示す。